

健全育成シリーズ (110)

子どもの心を育てよう



「子ども読書年」によせて

二〇〇〇年は「子ども読書年」

一九九九年八月九日、参議院において、翌十日には衆議院において、「国際子ども図書館」(東京都台東区上野公園内)が開館する西暦二〇〇〇年を「子ども読書年」とする決議が採択されました。

子どもと本の出会いの場づくりを国民運動として取り組もうと言う趣旨で制定されたもので、読書の問題が国会決議になったのは、日本憲政史上初めてのことです。

子どもが本と出会う意味

決議の内容は、「本とふれあうことによって、子ども達は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにして、人生をより深く生き抜く力を身につけることができる」というものです。

子ども達の活字離れ、読書離れが叫ばれるようになった近年になって、青少年の犯罪が増加しているという皮肉な事実もあり、子ども達に「豊かな心」を育てていく必要を感じ得ずにはいられません。

私たちは、様々な本と出会うことで、過去にも未来にも、そして宇宙の果てまでも旅することが出来ます。また、行間に隠れている

思いを、想像をめぐらしながら読むことで、主人公とは違う自分を見つけることも出来ますし、他者の生き方を知り、勇気や希望をもらい、悲しみをわちあうことも出来ます。人間一人のできる経験には、やはり限りがあります。しかし、本の世界から得る経験は無限に広がっているのです。

そんな、素晴らしい本と子ども達がふれあうチャンスは、読書環境を整えることから始まるのではないかと思います。

家庭で読書環境を
大人が読書する風景を、家庭のなかで常態にできるかどうかで、子どもが本に親しむ度合いが違ってきます。

「親に本を読めと言われたことがないが、そこに本があったから読んだ」と言う人は、親の本がそこにあるという親自身の読書習慣が見えていたのです。

まわりの大人が、幼い子ども達に絵本を読んであげることも、読書環境の大切な条件だと思えます。絵本は、人生まれて初めてふれあう本であり、一冊の感動的な絵本は、その後の読書歴の原形をつくるといえましょう。

絵を見せる、親の膝の上で、親の温かい声を聞く。読み聞かせの可能性は、親子の愛情の絆を深めるとともに、子どもの文化への欲求をも引き出してくれることになるのです。

「それから」「どうして」「なぜ」と子ども達はそうした問いをためらいもなく発信し、そうした情報の発信を通じて文化への欲求を満たし、また、次の新しい問いを見つけながら、文化意識を高めていくのではないのでしょうか。

また、それに加え、逆に子ども達に本を読んでもらい、説明を聞く謙虚さも親側にあれば、もともと親との会話は弾むのかもしれない。

こうした双方の連続がある中で、子どもは「読むこと・生きること」の自己学習力を育てていくのだと思います。

人間は環境によって左右される生き物であると言われますが、家庭での読書環境が、子どもの読書習慣に大きく関わっているひいては子どもの「豊かな心」を育てるということを、私たち大人は、この「子ども読書年」をきっかけに、もう一度考え直す必要があるのではないのでしょうか。

*都留市では小・中学生を対象に、夏休み親子読書感想文コンクールを実施しています。

大月市大月町花咲1608-3
☎(22)7824

伝言板

大月保健所

大月市大月町花咲1608-3
☎(22)7824

小児慢性特定疾患 短期入院給付が始まりました

十八歳未満の児童が

◇慢性腎疾患

◇ぜんそく

◇慢性心疾患

◇膠原病

◇神経・筋疾患で

一カ月未満(三十日未満)の入院をした場合の医療費助成を行います(就学時未満の児童については市町村乳幼児医療制度を利用してください)。

*一月あたり七〇〇円の保護者負担金を除いた額を助成します。

*この五疾患で一カ月以上の入院(三〇日以上)をした場合は従来通り、「小児慢性特定疾患治療研究事業」で医療費助成を行います(保護者負担金はありません)。

*受給のための手続きは保健所で行っていますので、お問い合わせください。

看護職員再就職相談 を行っています

あなたの技術を再び社会に生かしてみませんか!

少子高齢社会を迎え、健康と幸せな生活が一層求められています。こうした中で、看護職の働く場は、保健・医療・福祉領域などに拡大し、質の高い看護の提供が期待されています。しかし、ご承知のように、県内では深刻な看護婦不足の状況にあります。

現在就業していない保健婦(士)、助産婦、看護婦(士)、准看護婦(士)の免許所有者で機会があれば再び看護の仕事に戻りたいと考えている方を対象に相談窓口を設置しています。

*相談は、保健所職員により随時行っています。

*相談を通して知り得た個人情報厳守します。お気軽にご相談ください。

